

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	フリースマイル大村草場		
○保護者評価実施期間	2026年2月2日		2026年2月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	2026年2月2日		2026年2月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者と職員の間で子どもについての情報共有が共通理解できています	子どもの特性に対して、保育士・理学療法士・作業療法士・心理士・児童指導員・児童発達支援管理責任者のそれぞれの目線から目立てをつけ、全職員が情報を共有しながら支援していきます。	支援会議だけでなく、毎日の振り返りの中で子どもに関する気付きを共有し、子どもの成長に繋がります。
2	個人情報の取り扱いを厳重にしています	子どもの活動の様子を撮る際、社用の携帯のみで撮るよう徹底しています。	個人情報が記載されているファイルの保管場所は鍵を閉めるようにしています。今後も個人情報の取り扱いを厳重にするよう、徹底していきます。
3	子どもの活動等のスペースが十分に確保されています	今年度から児童発達支援と合同でクリスマス会を行いました。	常に危険個所がないか確認を行いながら、活動しやすい環境作りができるよう心がけていきます。活動内容についても、固定化しないよう季節の行事など幅を広げられるよう計画を立てていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ペアレントトレーニングや保護者会の開催をできていません	保護者会の機会を取ることができていませんでした。	3月20日に保護者会を行う予定になっています。直接保護者の方々の意見を聞くいい機会になると考えています。
2	放課後児童クラブとの交流する機会をより増やしていきます	他事業所とハロウィンパーティー・餅つき大会・キックベース大会を行いました。交流する曜日が固定化されていました。	曜日が固定化されないように、工夫していきます。また、こちらからも他事業所との交流が深まるよう、模索していきます。
3	人員の増減のふり幅が大きいです	各々の専門性や、経験を持っているため支援の視点やアプローチに違いが生まれることがありました。そのため、支援方針の共有やチーム内でのすり合わせに時間を要する場合があります。	研修や話し合いの場をさらに増やし、支援の方向性を明確にして統一させるよう努めていきます。